

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		毎年地域やご近所の方と会話していくことで少しずつ親しいかわりが生まれてきているように思います。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		健康を維持できるように運動と栄養を特に日々のケアの重点課題にしております
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる		開かれたホームで誰でもいつでも来ていただけるような雰囲気を作っていきたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		散歩の際の腰掛椅子を作ってくれたり、花をくださったりさりげない会話から親切を頂いており、買物等でも積極的に話し掛ける等して下さるようになってきております。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		文化祭があった時には出向いて催し物などに触れたり、見学したりしながら、地域の方と交流する機会を持ちましたが、これからも多くの関わりを持って行きたいと思います。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施に至っておりませんが、何かの役に立つことがあれば、できる範囲以内で、行って行きたいと思います。		近所の方が認知症について尋ねられる時は、その内容をお聞きして相談等に行っていますが、これからは何かのお役に立って行きたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の改善項目に従って、スタッフ間で話し合い改善に取り組んでおります。		直ぐ改善出来る所は、行っております。(トイレ等のプライバシーについて。)
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では参加メンバーより事業所に対してのいろいろな意見を頂いて、施設の質の向上につなげていける様に、忌憚のない意見をもらうようにしています。		おおむね2ヶ月毎に開催しています。年度が新たまり、構成メンバーの入れ替えが行われましたが、更にいろんな方面の参加を促して行きたいと思います。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の社会福祉施設連絡協議会の会員となり、市政及び、関連施設との協議、懇談会に参加して、ケアの質の向上を図っております。		袖ヶ浦市地域包括支援センターと連携を図り、空き室が出た場合には利用して頂ける様に情報交換を行っております。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修会などに参加して利用者の権利を守るべく、啓蒙に取り組んでおります。当施設でもご家族の方で、成年後見制度を活用されたかたがおります。		施設内研修にて、スタッフの意識統一を図って行きたいと思っております
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者が千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修基礎・専門課程を受講し、虐待防止に対しては、職員が一丸となって取り組み、あってはならない事として、さらに意識を高めています。		施設内研修にて、スタッフの意識統一を図ると共に日々のケアの中で注意していくように心がけていきたいと思っております。又運営推進会議の中でも民生委員から地域での事例等話に伺いますので対応を皆さんで検討しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時、契約の際には分かりやすく説明を行い、その都度疑問点を尋ねたり、確認しながら、納得していただいてから、契約を取り交わしております。</p>	<p>なるべくわかりやすい言葉で具体的に説明していきたく思います。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会や外泊の際には、ケアに対する不満や、疑問が出ることがあり即、対応を見直し、全職員で真摯に受け止め、ケアの質の向上に努めております。</p>	<p>家族が気軽に来ていただけるのが一番と思います。その上で気軽に言えるように働きかけをしていきたいと思ひます。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、血圧や体温などのバイタルデータと、生活状況(精神状態)をお知らせしております。面会の際には、職員の移動があった事(家族会等)をお伝えしたりします。個々の金銭管理についてはその都度、報告しております。</p>	<p>毎月利用者の健康や生活の様子をお知らせし、日常生活の写真を送付していますので、家族の方から離れていても様子が分かると言われます。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議において家族・利用者代表者に構成メンバーに入って頂き、意見交換を行なっています。又家族会(食事会・納涼祭・日帰り旅行)に参加を呼びかけて、利用者・家族・職員の親睦を深めながら意見を出していただいています。</p>	<p>家族代表の方が施設運営会議に参加して下さり意見を述べてくださっております。3年毎順番に参加になっております。このような機会に率直な意見が聞けるとありがたいと思ひます。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日9:00～10:00利用者さんに関する申し送り及び職員の意見・提案をその都度伺っています。又ケア・プラン見直し時全員出勤日を設けて、介護の手を一つにすると共に、職員の考え・提案を受け入れています。</p>	<p>日頃のケアしている中で感じていることや意見がでるときがありますので、いつでも提案として受け止め対応していきたいと思ひます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>勤務表を作る際には、職員の家庭事情に合わせた勤務時間帯を第一に考え、急な休みの対応としては職員同士了承のうえで無理の無い交換で組んでいます。夜勤者は(常勤)立ち上げ職員で、休日は他の常勤者で組んでいます。夜勤専属勤務ですので、日中の様子も必要に応じて他時間帯も勤務していただいています。</p>	<p>家族からの要望はまだありませんが、その都度柔軟に対応できるように、努めていきたいと思ひます。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員同士個人的感情の部分で離職につながらぬよう、何か問題点が生じたら一人で抱え込まず、その日のうちに解決出来る様に常日頃話しています。一身上の都合でやむおえず離職した場合は、利用者・家族・職員には事情を十分説明し、安心して日常生活が過ごせるよう気配り・配慮しています。</p>	<p>働く職員の事情は様々で離職はやむ得ない時があるかと思ひますが、仕事上の悩みを一人で抱え込まないように日頃から職員間のコミュニケーションや、各自のモチベーションなど推はかりながら気配りして行きたくと思ひます。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>千葉県保健福祉部・千葉県社会福祉協議会・全国グループホーム協会・介護労働安定センター・君津健康福祉センターその他の研修に常勤・非常勤問わずに各自の立場・経験に合った研修内容がある場合は出勤扱いでその都度受講していただき、研修終了後時間を設けて職員全員に報告及び意見交換を行なっています。</p>	<p>なるべく研修に参加していく方向性をもっております。また他施設間の交流会を実施しています。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>千葉県認知症高齢者グループホーム連絡会・全国認知症グループホーム協会・袖ヶ浦市社会福祉協議会に加入し、他事業所との交流を深められる場面には積極的に参加しています。</p>	<p>同じ市内のグループホーム職員との意見交換や勉強会などを行い、質を向上させていきたいと思い今年度から取り組んでおります。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>悩み事を一人で抱えこまないように、常に把握出来ているように気配りし定期的に話を伺っています。職員同士なんでも話し合える職場環境作りにも配慮しています。勤務表を作る際にも、職員の家庭事情・立場を第一に考え健康で楽しく働けるよう考慮して組んでいます。</p>	<p>気軽に話し合える雰囲気作りが大切と思います。普段のさりげない会話の中から悩みを話したり、他者の意見が聞ける機会を持っております。勤務交代は皆で都合をつけて仕事に影響しないように協力体制に努めております。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>健康第一の職場環境作りを常に考え、就業規則に基づき無理なく働ける職場環境をめざしています。年1回基本検診を受け、体調の悪い時には無理をさせず休んでいただいています。運営者は出張・休日以外はほとんど現場にきており、一緒に食事をとりながら利用者・職員とコミュニケーションを図っています。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人の様子を観察しながら、困っている状況が見られた際には即、お話をきいて、解決していく方向を取っておりますが、スタッフ間で情報を共有し、困った状態が見られないか、随時様子を、見ながら対応をしています。</p>	<p>利用に至るまでホームに足を運ばれ、まずご本人が気に行ってくださいの事が大切と思います。其のうえで、ご本人の要望を聞き納得していただけるように十分な話し合いを持ってあります。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>ご家族様には、どのようにしたいか、希望を尋ねたり、不安な事がないかなど、良く聴いていく方向を常にもっております。</p>	<p>ホームを利用するに至るまでは家族間で色々話し合われたことがあり、思いも様々にあるかと思っておりますので、納得していただけるように十分な話し合いを持ってあります。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の際には、その後家族に強い希望がある場合は、その対応を取りますが、方向性の決まっていない相談者の場合には、入所後その都度対処していく事を進めております。		家族の希望を受け止めグループホームとして、对外サービスを使用できることで解決できる場合はお伝えして出来るだけ要望に沿う体制をとっております。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所時、本人の状態を見させていただいてから、徐々にサービスを利用するかを見極めています。入所している利用者の方が期待を持って迎えてくださる雰囲気がありますので、まず入所していただいて、その間に、外出や外泊を頻回にもって頂くなどお勧めしますが、ご家族の希望に合わせた対応を取っております。		無理のないように家族との相談、スタッフや利用者ともよい関係が出来るように雰囲気を大切にしております。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	スタッフは、共に生活をしていくという姿勢をもっており、人生の先輩から、教えを頂く気持ちは常に持ちながら接しております。お料理を教えていただいたり、お年寄りの知恵袋を活用していただいて、教えられる事がたくさんあります。		お話の出来る方との関わりがどうしても多く時間を取ってしまう傾向になりがちです。コミュニケーションが取れない方との関係をどのように取って行ったらよいか試行錯誤しております。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族と共に、利用者の生活を一緒に支えて行くにはどうすれば良いかのスタンスは取っております。		家族の思いを大切にしております。お家で見ることはできないが、時々自宅に呼んで一緒に食事をしたりする方や、面会、旅行にお連れしたりされますので、家族のご両親との思いを残して、預けていても常につながっている絆を感じさせてくれます。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入所して落ち着いた姿を見ていただいて、良い関係が築けるようお話して、面会になるべく来ていただいたり、電話などで会話をさせていただくように橋渡しをしております。		お電話できる方にはお話ししていただいて、お願い事など家族と直接行っております。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外泊などで家に帰られた際には、ご近所との付き合いしてこられたとの報告も受けます。又、来所・外出・外泊はすべて自由としています。		来所された時は、利用者さんとの時間を大切に頂き、ホームにはいつも来やすい様な雰囲気・配慮を大切にしております。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を常に考えて、一緒に集う時間を大切に、スタッフが仲立ちをしております。	○	どうしても、一人の時間を大切にする方や、特定の結びつきが強い方かおられますので、そこは強制できないところであり、その個性を尊重しながらも、検討している段階です。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	今の所該当者なし。		今後そのようなケースになった場合には、いつまでも御家族・関係者の相談に応じて今までに築いた連携を基にスーパーバイザーとして出来る限りの支援は継続して行く意識はもっています。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本来各個人で過ごす時間は、マイペースを尊重しております。食事やその他のお手伝い、レクリエーション参加も、各自の能力にお応じて行い、個性を尊重しております。	○	各自の思いや意向について、その都度聞き取りの可能な方については聞き取りをし、言葉の表現の不可能な方については、行動観察しながら、思いを受け止めていきたいと思えます。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族から、少しずつお聞きしております。	○	御家族様の協力を得てプロフィールなど作成しています。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	現在入所されている方の過ごし方は、把握に努めておりますが、それぞれそれぞれに関わりを必要としている人の心身状態や頻度、程度により関わりを変えております。	○	心身の状態に合った過ごし方をそれぞれ行っているか、又、有する能力を最大限に発揮されているかも把握して行きたいと思えます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるように、本人と家族より希望を聞いてそれを、介護計画に入れております。		出来上がった介護計画を説明し、家族よりの意見が出て来た際には、見直しをして新たな介護計画を作成して行きたい。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画を作成しても、具体的な内容については常に見直しが必要であり、毎日のカンファレンスや日々の業務の間に意見を聞くなどして、即対応を検討しなければならないときなどは、その都度必要な方に対して見直しを行っております。		本人の意思や能力に応じて柔軟に介護計画を見直しております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録を記入していく事を原則としながら、得た情報は必ず申し送り、共有した上で実践状態を見て見直しを行っています。	○	常に見直しながら取り組み、最善のケアを共有出来るように努めていきたいと思っています。
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	まだ行なっておりません。	○	今後はショートステイ、デイケアを取り入れていきたいと思っていますので、市に申請中です。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	市のボランティアセンターを通じてお手伝いを頂いたり、市政防災課にSOSネットワークが作られており、警察に連携が取れるようになっております。消防署とは毎年全職員が、救命講習を受けさせていただいております。図書館も利用させて頂いております。		民生委員の方には、運営推進委員として協力して頂いています。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	市が主催している健康ランドで入浴したり、ボランティアの理美容サービスを利用しております。		ボランティアカットさん、フラワーアレンジメントボランティアの方が2ヶ月毎に、さらにリハビリ体操のボランティアさんが来所しております。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括センターの職員が参加していただける様に打診していましたが、4月より、参加が可能になりましたので、協力して行きたいと思っています。		まだ参加に到ってませんが、再度打診をし依頼の方向です。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の意向を大切に、かかりつけ医を受診していただいております。又、病状にあった専門医療との連携も出来てきています。		かかりつけ医が隔週で往診して頂き、それ以外の時も緊急で往診を依頼をしています。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>日頃の様子を見ながら、認知症の進行状態が著しい時などは、ご家族の方に様子を知らせて、以前に専門医に掛かっている方などは特にその係り医に見ていただく方向を取っております。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職員は常勤で居りますので、常に利用者の状態を把握していただいております。なにか状態の変化が見られたときには、情報を共有して日常の健康を管理し、異変が見られた際には他の看護職とも連携しながら対処しております。</p>		<p>24時間連絡体制の看護師より、助言や医療的措置等を行って頂いています。</p>
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>利用者が入院した際には家族と経過を見ながら、病院関係者と情報交換し、家族の希望や医師との話し合いを持って安心して入院して頂いただけのようにしております。退院においても、なるべく早く退院できるように努めております。</p>		<p>入院の状況を常に把握してADLを長引く入院で低下させないように、家族・病院と情報交換や連携を取るようしております。</p>
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は、現在24時間医療体制作りがスタートして徐々に何名かの方には見取りの方向がきまっております。又、主治医との話し合いも出来ております。</p>		<p>ホームで看取る方が増えてきております。</p>
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>本人の気持ちを大切にしながら家族と話をもち、利用者が安心して終末期を迎えられるように、医師・職員が連携してとりくんでいる段階に入っております。</p>		<p>重度になってからの看取りはまだありませんが、体制を整えて取り組んで行きたいと思います。</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>他の事業所に移った際には情報を交換を十分行い、ロケーションダメージを最小限にしていくように努めております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	生活をささえる介護者としての言動は、常に利用者の立場に立った考え方をし、失敗の際にもさりげない言葉掛けを行っております。	記録物は、所定の場所に保管しています。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	利用者が願いや希望を現したときなどは、その都度応えていくようにしております。	季節ごとに行事を計画する際には、意見を出してもらっております。食べ物に関心の強い方は献立を提案して下さったり、お出かけは皆さんとても陽気な様子見られますのでなるべく多く行くように、近場や車で足を延ばすようにしております。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	基本のスタンスは、それぞれがマイペースで生活をしていただくことです。その中で一部介助があったり、見守り・確認・アドバイスなど、その方が必要としている事を掴んで、的確に支援しております。	出来ることは利用者の気持ちを優先して行っております。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	衣類を自己管理できてる人は朝起きた時点でご自分の衣類を選択され、身につけられています。一部介助の方についてはこちらでお尋ねしながら、準備させていただいてます。理美容についても、本人から要望があれば随時予約を要れ、送迎を行っております。	理美容に行けない方には、ホームで毎月カットをボランティアさんの協力で受け入れています。
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	なるべく利用者が献立を考えた時には、お料理もしてくれますので、サポートに回ったりしております。ひとり一人好き嫌いがありますので強制せず、さりげなく参加を促しております。	参加をお願いすると殆どの方がスムーズに材料をきったりの、お手伝いに参加してくれます。中にはお料理を拵えて下さる方もあります。
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	一緒に買い物をしたりして、自由に買っていただいております。タバコは吸う方はおりませんが、お酒は利用者が作ったものを行事などに出して飲んでいただいております。	杏酒を作って行事の際に飲んでおります。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表に記入しながら排泄パターンを把握をして、なるべくパットを使用しない排泄を心掛けております。失禁があっても失礼にならない声掛けを行い、さりげなく後始末を援助しております。		大体の排泄の時間帯を見計らって声かけ促しを行っております。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日中に入浴の声かけを行い、入って頂ける方には入っていただき、夜を希望される方は夜に入らせていただいております。		希望がある時にはいつでも入浴して頂いております。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一日の流れは各個人により異なりますので、あまりにも非活動的だったり、反対に一日中活動している場合には、その時々で休息の声かけをおこない、心身のバランスが取れるように支援しております。入眠については、個人の習慣を大切にしております。		ほぼ毎日(悪天候以外)午前中に散歩しながら太陽光線を受けることで睡眠のリズムを作れるように行っております。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の力を発揮して頂き、買い物や散歩、近所の方とお話したり、野菜のお手伝いをしたり、塗り絵・貼り絵など気晴らしできるものに参加していただいております。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を自己管理しながら、ご自分の好きな買い物をされております。自己管理は出来ませんが、支援すると買う事が出来る人には、その都度買い物時にお金をお渡しして購入していただくようにしております。ご家族にも、使用状況を報告しております。		管理ができる利用者には、自己管理で自由にお買い物をされております。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	室内だけでなく外に出て頂いて気分転換はかれるように、希望が出た時は、戸外に出掛けております。		基本スタンスはお天気の良い日は一日に一度は外気浴の為、皆さんで屋外に出るようにしております。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族の方にもご協力頂いて、行きたい場所などに連れていただいたりしておりますが、個人差がありますので、内容によって対応しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人から要求があった場合、電話や手紙のやりとりは、必要に応じて手助けをして、それ以外は本人の意志を尊重しております。		ご本人に任せておりますが、希望や支援が必要になった時は速やかに援助に入っております。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自由にいつでも気軽に来訪できるように、雰囲気づくりに配慮しております。		家族や、知人の訪問も気軽に来て下さる様に配慮しており、2～3名の方は毎月1～2回外泊や外出されております。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベットで過ごされていた方で転倒の危険が見られた際に、床にマットを敷いて過ごしていただくなど、対応を変えながら拘束しない介護を目指しております。		身体拘束の研修に参加しています。全職員で何が身体拘束に当たるのかを再度検討し、拘束のないケアに努めております。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室及び日中は鍵を掛けておりませんが、外の門においては、防犯も兼ねて常に鍵をかけております。利用者の状態を観察し要求があったときには、スタッフも一緒に出掛けております。		中庭は自由としておりますが、外門にはカギをかけております。なるべく閉塞感のないように、毎日ホームの外を散歩したり、野草を摘みに出かけたりしております。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中・夜間共にチェックリストを作成して、所在の確認をおこなっております。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	施設内や居室に危険なものはおいていないか、訪室の際や介助時に、確認をおこなっております。		ストープを設置しておりますが、周囲をサークルで囲むようにしたりの対応をとっております。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	転倒を防止する為に利用者を観察し、未然に危険な状態を改善するべく、身体状態・履物・薬の検診・行方不明防止・それぞれの対応マニュアル作りを行っております。		利用者が下肢筋力の低下が見られた為、室内にポータブルトイレを設置し手摺りを取り付けるなどおこなったり、2階から1階へ居室移動して行く等の対応をしております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の協力を得て、毎年1回(普通)救命講習研に参加をし、定期的実践訓練を行なっています。夜勤時の緊急対応についてマニュアルを整備して、全職員に周知を図っております。		心肺蘇生の講習は全員で毎年受けており、役に立っております。さらに、対応できる訓練をして行きたいと思っております。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	日頃より全員で外出時は、避難訓練を想定して施設庭より車に乗り込む時は自立の方からスムーズに誘導し、玄関で混乱しないようにスムーズに屋外に出られるように心掛けています。又消防計画書を作成し状況に応じて避難場所は職員全員把握しています。	○	毎年春に、消防署の協力を経て避難訓練を行っております。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	リスクに対しては、常に起こりうる事として、ご家族に承知してもらい各利用者の状態に応じて速やかに連絡したり、毎月の身体や、生活状況のお知らせに記載したものを送付しております。		転倒・誤嚥・誤飲・感染・不潔行為など色々抱えているリスクに対して、ご本人を規制するのではなく、場所移動や居室内改善など環境改善を試みております。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	出勤の際必ず利用者の顔色や、反応を観察するようにしております。さらにバイタルチェックを行い、身体に異変がないかも見逃さないように、毎朝のカンファレンス会議にて情報の共有を行っております。異変がある際には、優先順位により行動をとるようにしております。		看護師より、利用者さんの身体チェックリストを作ってもらいそれに基づいて観察を行っていく方向です。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬については、新薬に変わった時には服用の状態を見て行く様にしております。もし異常が感じられた時には、服用を見合わせ医師に連絡報告を行うと共に、職員に対しての申し送りの徹底を行う。		薬に添付されている副作用などを読んで参考にしておりますが十分とはいええず、これから周知していきたく思います。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便表に基づいてコントロールを行い、どうしても排便のない時には、服薬処方を行うようにしております。しかし排便を促すように、毎朝、牛乳・ヨーグルト・サツマイモなどを取り入れたり、トイレ誘導を行いたっており、身体を使って行く事も継続して行っております		繊維のある食材と水分をしっかり摂って頂く様にしたり、散歩などの体を動かす事を心がけております。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎日、朝晩の口腔ケアを行ってます。日中は各個人の自覚に任せております。		個々により介助内容を勘案し、それぞれの状態によって援助を行っております。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ひとり一人の状態を観察したり、量的なものは配慮が必要な人以外は、その人の毎日の食欲により、本人が減らしたりお替りしたりしてコントロールされておりますので見守っております。水分については、三度の食事と二度のおやつタイムで摂取していただいております。		栄養や水分不足にならないように毎月の体重管理、浮腫みや脱水、またカロリーの摂りすぎによる肥満も注意しております。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがあります。また入所の際には必ず検査をしてから入っていただいております。何か感染が見つかった際は、完全に治癒してから入所していただいております。現在の利用者に対しては、トイレと外から帰ったら必ず、石鹸での手洗いと、うがいの徹底をしております。		毎年(職員も含め)インフルエンザの予防接種を行っております。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきんは毎日漂白を行っており、料理に使用したまな板は、天日乾燥を行っております。冷蔵庫内は毎週一度は清掃を行っております。野菜は取りたてを使い、冷蔵庫内のもは使い切ってから、買い増しするようにしております。		食中毒発生時期には特に注意しながら生ものはしっかり火を通す事を徹底したり、食品や、野菜などもよく洗って使用しています。常に冷蔵庫内点検し早めに使い切るようにする等の配慮をしております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入り口に、手作りの看板を立て掛けております。庭を広く取り周囲の自然とマッチするように、前面芝生にしております。玄関先に花を置いたり、花壇には花を植えたりして季節を感じていただくようにしております。釜戸は野外での、食事作りとして活用し、あわせて2箇所テーブルを設置して、戸外での憩いの場としております。		毎年、花壇のお花を利用者も自ら植えたりして活用しております。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所においてはその季節を感じていただける様に献立を工夫したり、音楽を配して心地よさを感じていただける様にしております。不快な臭いは、こまめな清掃と、換気に対応しております。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	皆で集う空間の中で思い思いに過ごされている。		建物の構造については、検討して頂ける様に運営者に働きかけております。来年度に向けて、現在のリビングを増設予定しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の意向に添っており、今まで使用していた使い慣れていたものを、そのまま用意していただくようにしております。		それぞれにご本人が過ごしやすい空間利用をされていますが、認知の程度により居室内の置物に差が出ています。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	冬は暖かい時間帯に換気を行い、なるべく外の空気を入れる様にしております。夏はエアコンで体を冷やし過ぎないように、適度に自然の風を取り入れるようにしております。		2階は、夏には冷気が冬には暖気が流れるように吹き抜けになっております。又、換気口には扉をつけその都度調整しております。
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室・廊下・トイレ・風呂場・リビング・階段・玄関に手すりがついており、出来るだけ自立した生活が出来るように配慮しております。		居室内に、なるべく自立の助けになるように手すりを設置しました。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ひとり一人のわかる所は發揮していただきながら、わからない所については、その都度職員間で話しあってよい方向にむけていくようにしております。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	畑のスペースを確保してしてあり、料理に使うものを収穫したりしている。またベランダでは外の景色を眺めて楽しいひと時をすごされたり、布団干しもされてる。庭に出ると日をあびたり、ボール投げやゲートボールをされたりしております。		テラスでは、日光浴やおやつ・ランチ等気分転換に楽しんでおります。

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、活き活きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)